



歯の矯正治療について

歯並びが不ぞろいのことを歯列不正、上下のあごの歯がお互いちゃんと噛みあわない状態を不正咬合と言います。

歯列不正や不正咬合をそのままにしておくと

食べ物が良く噛めない。

発音が明瞭でなくなる。

虫歯や歯周病にかかりやすくなる。

虫歯や歯周病にかかりやすくなることよっての口臭の原因になる。

あごの関節に負担をかける事によっておこる顎関節症になりやすくなる。 等があります。

原因としては

大きな歯に遺伝による小さなあごが合わさって歯並びが悪くなる。

上あごが下あごより大きくなって出っ歯になる。

下あごが上あごより大きくなって受け口になる。

指しゃぶりや唇を噛む癖は歯並びを悪くすることがあります。

遺伝による影響もあります。

扁桃腺・アデノイド・アレルギー性鼻炎などで、口を開けて息をするために起こると考えられる不正咬合もあります。

きれいな歯ならびにするために、歯を削って「差し歯」にすることは、基本的にはありません。ただし、歯を抜いて歯並びを作るスペースが必要なことは有ります。

矯正装置を通じて、歯やアゴの骨に力をかけてゆっくりと動かして、歯ならびと噛み合わせを治していきます。

治療期間は中学生で始めた場合はだいたい2年から3年と言うことが多いですが、歯並びの程度によってはもう少しかかる場合もありますので一概に一定とはいえないと思います。

不正咬合があることによって成長に不利なこともないのですが、不正咬合を治すことで、自分の容姿に自信が持て、今までのコンプレックスを解消できることも、重要なことのひとつだと思います。



情報が満載

